

県内のトップを

衛生的な町づくり 必要な各事業実施へ

上・下水道、ゴミ焼却炉 終末処理場の建設

私たちが、毎日生活していく上で、これだけは町でやって貰いたいと思えるのが、ゴミの問題です。便所のくみ入れ、また、大腸菌のいる自家水道でなく、衛生的な町の上水道です。しかし、このうちれ一つ一つでも大へん金のかかる問題なのです。ゴミ集めを月三回はしてほしいというのが、町の主婦の声です。

次に副読本「伸びゆく壬生町」の六五ページには、東道の舗装の状況が、また五ページには町営住宅のことも書いてあります。

ほそうされた県道近くの市や町を結ぶ道路、壬生を通って国倉、安塚、宇都宮市に行く道を栃木一宇都宮線、壬生一稲架七ツ石を通る道は小山一今市線です。石橋街道と

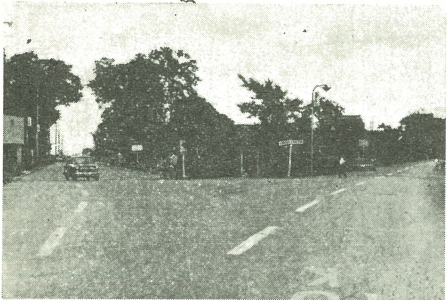
県平均で一五・七％ 本町では二倍の舗装率

管内の主要県道

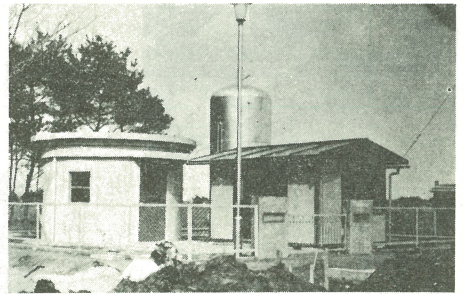
よばれる壬生一真岡線。宇都宮一葛生線と、いずれも県道で、壬生町の幹線道路となつて、壬生町の工業開発が進



「私の家の近所にし尿をすてられて困ります」と役場へいってくる人もあります。これら町の声に



舗装された県道 (三好町三叉路)

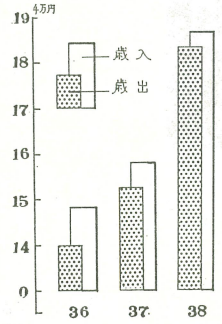


道の舗装のされているとは大きな違いがあります。木県内の舗装率は一五・七％(39・4・1現在)が舗装されているが、壬生町管内の県道は三〇％という高い水準を示しています。

県道栃木一宇都宮線この県道舗装には総工費一億三千四百万円をかけて昭和三十八年度中に完成したが、国庫事業なので地元負担はありません。

特に壬生市街地の舗装補修工事(一、九〇〇万円)は県庫事業から国庫事業に持ち込んだので、これも町負担はほとんどありません。

そのほかの県道も着々舗装の計画があり、交通ひんばんの折から県道舗装には町としても、一段と力を入れることになりました。



健全財政で黒字 町営住宅は六十戸完成で 三十九年は打ち切り

現在、各地方公共団体である市町村は収入の三割程度を自主財源として、あとは国庫支出金や国の補助で仕事を回っています。過去昭和三十六年度から、それにまかわらず行政の需要は年々増えています。

財政を堅持して、町営住宅は三十九年間に六十戸の建設を完成させたので、三十九年度は、民間住宅の建設意欲の促進効果的に重点施策を決定

りの方針で町議会には決まりました。ちなみに町営住宅の三十九年度予算は、総事業費一、千四百九十九万円、その財源は町費七百八十一万円、起債二百五十万円、国庫補助五百五十七万円

第二工場を建設

足立興業K K
壬生町誘致工場の一つである足立興業株式会社(壬生町)では、このたび増員と多量生産を目指して同敷地内に建坪一〇〇坪、鉄骨スレート葺平家建工場を建設しております。

完成は六月末で、それに伴い従業員の募集をしております。お知りませし、欄をこらんとぞと写真左に建設中の第二工場

トミー工業株式会社
金属電動玩具、プラスチック人形製造

株式会社 大崎精工所
金属、ゼンマイ玩具製造

株式会社 堀切製作所
玩具材料、ゼンマイ製造

新正工業株式会社
金属玩具、電動自動車製造

株式会社 サンワトイ
金属玩具、船、自動車ほか

株式会社 セブントイ
金属玩具、電動玩具製造

株式会社 ヒカリ玩具製作所
金属、ゼンマイ玩具

大日塗装工業株式会社
金属塗装

スメダ紙工株式会社
紙器製造

斎藤プレス
プレス加工業

